

会 議 録

会 議 名	小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会 (平成28年度第1回)		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	平成28年9月9日(金) 午前9時50分から11時		
開 催 場 所	小金井市文化財センター学習室		
出 席 委 員	亀山 章委員長 小野良平委員 椎名豊勝委員		
欠 席 委 員			
出 席 職 員	道路管理課吉永工事係長 <事務局> 石原生涯学習課長 山崎文化財係長 高木主事(学芸員)		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	無
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
	<p>1 開 会</p> <p>2 委員自己紹介</p> <p>3 事務局紹介</p> <p>4 議 題</p> <p>(1) 座長(委員長)の互選について</p> <p>(2) 平成24年度における本委員会の概要</p> <p>(3) 整備状況について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 人道橋の整備について</p> <p style="padding-left: 20px;">イ ヤマザクラの補植について</p> <p>(4) 今後の整備方針・計画について</p> <p>5 次回委員会の開催日について</p> <p style="padding-left: 20px;">第2回 平成28年11月30日(水) 午前10時～</p> <p style="padding-left: 20px;">第3回 平成29年 2月27日(水) 午前10時～</p> <p style="padding-left: 20px;">会 場 小金井市役所第2庁舎8階801会議室</p> <p>6 配付資料</p> <p>(1) 玉川上水、小金井桜整備の経過(資料1)</p> <p>(2) 玉川上水沿線整備区間部分(小金井市)(資料2)</p> <p>(3) 人道橋の整備、ヤマザクラの補植(資料3、4)</p> <p>(4) 小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会委員名簿</p> <p>(5) 名勝小金井(サクラ)復活事業に関するアンケート調査結果について</p>		

会 議 結 果

1 開 会

石原生涯学習課長 定刻より少し早いのですが、皆さんお集まりですので、始めさせていただきます。また、本日は、11時以降退席の予定の委員もおられることですので、11時終了をめぐにすすめさせていただきますと存じます。

改めまして、皆さんおはようございます。本日は、お忙しい中、当委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。委員会が始まるまでの間、司会、進行を務めさせていただきます、生涯学習課長の石原と申します。どうぞよろしく願いいたします。

委員会開催の前に、事務局の方から説明をさせていただきます。本委員会、久しぶりに開催されますので、委員会の位置づけについてですが、委嘱という形ではなく、協力という形をとらせていただきますが、任期につきましては、ご承諾をいただきました本日から1年ということで平成29年9月8日までをひとまずの任期とご了解いただきたいと思います。また、本委員会は、議事録作製用に録音をさせていただきます。

また、委員会については、外部の委員で構成するものについては、原則公開という形となっておりますので、今後の委員会につきましても、傍聴のご希望がございましたら、傍聴者の同席の場合もあるかと思っておりますが、その節はご了解いただきたいと思います。

それでは、委員の皆さんの自己紹介をお願いしたいと思います。アイウエオ順に小野先生からお願いいたします。

2 委員自己紹介

小野委員 立教大学の小野と申します。前回の時には、別の大学に在籍しておりましたが、現在はこちらに異動となっております。専門はこちらに書きます造園、主に歴史的なところを扱っております。どうぞよろしく願いいたします。

亀山委員 亀山です。7年くらい前まで、東京農工大学にいました。現在、主にいるところは、日本自然保護協会というところです。景観の生態的なことをやっております。よろしく願いいたします。

椎名委員 椎名と申します。日本樹木医会で樹木医をやっております。樹木のあるべき姿などについて調査したりしております。どうぞよろしく願いいたします。

3 事務局紹介

石原生涯学習課長 事務局の体制も変わっておりますので、紹介させていただきます。

山崎文化財係長 4月から文化財係長を命ぜられました山崎と申します。よろしく願いいたします。

高木主事(学芸) 2年前に採用、配属されました文化財係主事の高木と申します。よろしく願いいたします。

道路管理課吉永工事係長 本来、道路管理課長が出席させていただくところですが、本日公務が別に入っておりまして、代理でまいりました、工事係長の吉永でございます。

ます。よろしくお願いいたします。

石原生涯学習課長 前回と同様、環境政策課長もこの会に今後出席の予定なのですが、道路管理課長と同様の公務で、今回は欠席でございます。

4 議 題

(1) 座長（委員長）の互選について

それでは、委員会の座長を決めていただきたいと存じます。

要綱によりまして、指名推薦による互選で行っていただいておりますが、この方法でご異議ございませんでしょうか。

（委員全員頷く）

それでは、どなたかご推薦をお願いいたします。

椎 名 委 員 学識から考えまして亀山先生を推薦したいと思えます。

石原生涯学習課長 皆さんご異議ございませんでしょうか。

（委員全員頷く。）

石原生涯学習課長 それでは、これより亀山先生に座長として進行の方をよろしくお願いいたします。

亀 山 委 員 それでは、まず、配付資料の説明をお願いいたします。

高木主事(学芸) はい。配付しました資料は、資料1「玉川上水・小金井桜整備の経過」その裏面が、資料2「玉川上水沿線図、関野橋～梶野橋整備区間」、資料3、4は人道橋の整備状況、ヤマザクラの補植状況の写真です。そして、参考資料といたしましてアンケート調査の結果を添付しております。また、既にお持ちかもしれませんが、前回から4年近く経過いたしましたので、「実施計画」についての水色の冊子もあわせて配布いたしました。以上です。

(2) 平成24年度における本委員会の概要

亀 山 委 員 それでは、(2)平成24年度における本委員会の概要について、お願いします。

石原生涯学習課長 おさらい的になるのですが、モデル区間事業開始から平成24年度玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会閉会までの間につきましてご報告させていただきます。

平成22年度から24年度までは、東京都水道局の「史跡玉川上水整備活用計画」に基づき、水道局が主体となったモデル区間、新小金井橋から関野橋までの約640mの区間の整備を実施したところでございます。3年間の整備事業は順調にすすみまして、補植されたヤマザクラも一部枯死したものもございますが、おおむね良好に生育しているものと認識してございます。モデル区間につきましては、24年度をもって終了となっております。

委員会についての概要ですが、本委員会は、人道橋の具体的な設計に関する事項について、最後にご議論いただきまして、その間、専門的な見識を有する皆様方のご意見をお聞きしまして、市の活用計画を円滑に推進することを目的に、本委員会については、設置したところでござい

ます。

平成24年12月から平成25年6月の間、計5回開催いたしました。会議では、人道橋の整備に関することを中心に協議が行われたと認識してございます。設置された人道橋については、後ほど、工事係の方から報告していただければと思っております。

続きまして、今回からの委員会での主題となる緑道の整備についてでございます。緑道の整備については、部分的に触れてきていただけたかとは思っておりますが、深く掘り下げる時間をとることはできなかったという認識でございます。

モデル区間における緑道整備の指針としてこちらが認識していることといたしましては、

1つ目としては、歩道内に付設されましたコンクリート製のスロープについては、桜の根をはる部分を残すため、最低限必要な部分以外は撤去する。

2つ目として、フェンスについては、史跡が見やすくなるような形状の、現状の高さ1.2mより低くし、モチーフのついていないようなシンプルなものとする。

3つ目としては、緑道の路面については、土系舗装の路面を想定し、緑道は、1.2mから1.5mの幅とし、ただし、サクラの根の周りは保護措置を施す。

以上、大筋について今迄の委員会でご議論いただいたものと思っております。

より詳細な整備にかかる検討については、今後は、皆様方のご議論をいただきながら、設計の中でさらに詰めてまいるという形で、一度委員会の方は閉じさせていただいたという認識です。私の方からは以上です。

亀山委員 はい。ご説明いただいた中で、何か質問ございますか。

小野委員 この委員会の位置づけですが、第6回というご案内をいただいたということで、過去の委員会がそのまま継承されているという認識でよろしいですか。

石原生涯学習課長 はい。

小野委員 だとすると、前回の際には、伊東先生もいらっしゃったかと思うのですが、伊東先生は今回はどうされたのですか。

石原生涯学習課長 現在は伊東先生と連絡をとれておりません。今後、緑道の整備等でご意見を伺うこともあるかと思っておりますので、連絡がつき次第、先生のご都合がつくようには調整を行ってまいりたいと思っております。

亀山委員 伊東先生は、土木遺産の専門家でいらっしゃるので、玉川上水そのものが土木遺産ですので、史跡としての玉川上水についての保存のあり方については、ご専門の視点をお持ちですから、欠かせないと思われま。

椎名委員 具体的には、根が生えて、大きい木、ケヤキなどが茂ってきたときに、側溝をどうするかは、土木の視点が必要です。さしあたって今すぐ問題になるわけではないのですが、そのうち、早晚問題になるかと思ひます。

亀山委員 それでは、(3)整備状況について、お願いいたします。

(3) 整備状況について

ア 人道橋の整備について

道路管理課吉永工事係長

人道橋の工事を担当させていただきました都市整備部道路管理課工事係から報告させていただきます。人道橋の設置工事にあたりましては文化庁及び玉川上水の管理者である東京都水道局との施工協議が難航しまして、当初想定した工事完了に遅れを生じました。難航した協議内容といたしましては、大きく分けて4点あります。

小金井サクラが名勝、玉川上水が史跡であることから文化財保護区域ということで、想定より、施工に伴う制約が厳しい状況でございました。

1点目としては、下部工にあたる橋台の基礎下鋼管杭の施工にあたり、護岸に対する影響に関する協議。

2点目としては、工事で使用する処理水を玉川上水に流さないよう、処理水の処理の仕方の協議。

3点目としては、工事施工に伴う作業通路を設置するにあたり、占用申請や構造図等の資料の作成、

4点目としては、掘削した残土の処理や保存方法の協議や資料の作成、

これについては、文化財保護の観点から生態系を考慮して、埋め戻しの土や掘削した残土の土を使用するよう指示があったということから行った協議となっております。

概ね、このような文化財保護に配慮する施工方法等の協議や承諾を得ることに時間を要したことから遅れを生じまして、26年度に全ての工事を完了することが厳しくなったという状況になりました。

そのようなことから、下部工の橋台と上部工の橋げたの主構造を切り離して、年度内に施工完了となる既設歩道橋の撤去及び鋼管杭の工事を行いました。

橋げたについては、工場製作となりましたので、長野県工場での中間検査と完了後の2回材料検査を行いました。慎重にすすめ、平成27年度に橋台と橋げたの主構造の施工を行いました。

施工後は、写真にもありますように、平成27年7月31日に開通式を行いました。供用の開始を行いました。

今後の人道橋に関する課題としましては、2点ございます。

1つ目は、横断歩道橋で五日市街道を跨ぎ、小金井公園側まで渡れていましたが、撤去され、架け替えにより、渡れなくなったことから、利用者から横断歩道の設置の要望があがっていること。新規の横断歩道の位置については、バス停が近くにあることや切り下げの設置により、ヤマザクラが近くにあることから、横断歩道の設置位置についての課題があります。

2つ目は、今後の人道橋のメンテナンスをどう考えていくかということになります。維持管理、点検を今後いつ頃行うか、点検と保守費用の

確保を、長期的にみて必要となるということがございます。

今後も、道路管理課の方では、課題解決のために調整をしていきたいと考えております。以上で人道橋の整備の経過報告となります。

亀山委員
高木主事(学芸員)

説明が終わりました。人道橋は名前をつけたのですよね。
橋の名前については、生涯学習課が担当いたしましたので、こちらからご説明いたします。

こちらは、市民の方に市報等で橋の名前について募集をかけたところ118通の応募をいただきました。80件の橋の候補名があがり、庁内の選定委員会で「平右衛門橋」を選定いたしました。理由といたしましては、玉川上水の名勝小金井桜の経過については、江戸時代の川崎平右衛門定孝がヤマザクラを植樹したこと、また、武蔵野新田の開発に尽力された功績も讃え、その名前を後世に残すため、この橋名となりました。以上が橋の名前を決定した経過となります。

亀山委員
石原生涯学習課長

その説明は、橋の部分に何か書かれているのですか。
東京都の水道局と調整して、この説明板については、つけていただくことになっておりますが、水道局の予算確保が延期されている状況です。親柱に『平右衛門橋』と名称だけは書かれているのですが、なぜ平右衛門橋なのかとか、橋の形式とかの説明を入れておきたいのですが、現在は、まだ無い状態です。

亀山委員

それと、この橋というのは、道路なのですか。転用工作物なのか。位置づけはどうなのですか。

椎名委員

小金井市の両岸にある道は、要は歩道なのですか。
東京都の緑道というのが途中で切れるじゃないですか。小金井市分は緑道ではないのですよね。小金井市分だけが道路なのですか。

石原生涯学習課長

緑道の南側は小金井市の道路なのですが、歩道がとれないので、歩行者の安全を確保する上で、どうしても緑道部分、土手が必要なので、東京都に貸してくださるようお願いして、東京都からは、小金井市が上を管理するのだったら、歩道の利用なのか道路の利用なのかどちらでも結構なので、小金井市の責任で自由にお使いくださいというのが南側の位置づけで、北側、五日市街道側は小金井市の管理下ではないです。

椎名委員

そうですか。

亀山委員

それでは、ヤマザクラの補植について、お願いいたします。

イ ヤマザクラの補植について

高木主事(学芸員)

本計画におけるサクラの補植経過をご説明いたします。平成25年度は、都教育庁主導によって、茜屋橋から新小金井橋までの欠損木の補植事業が行われています。一方で、小金井市では、平成25年第1回市議会定例会に、「名勝小金井桜の復活にむけて整備事業の継続を望む」ことを主旨とする陳情書や、サクラの成長を阻害し、交通障害や倒木事故発生の原因となっている危険樹木の伐採を求める陳情書が出され、全会一致で採択されています。こうした経緯から、小金井市は、緊急度が高い関野橋から梶野橋間の整備を計画し、平成25年12月、都水道局長

あてに整備について依頼いたしました。また、平成26年5月に行った都教育庁との協議では、専門家の意見が必要との指摘があり、平成26年7月9日に、亀山先生に現地調査を依頼、その結果を踏まえ、次の整備計画を策定いたしました。

以上のように、平成26年度～28年度は、都水道局の「史跡玉川上水整備活用計画」をふまえながら、小金井市が主体となって実施するものです。

平成26年度及び27年度は、関野橋～梶野橋間の上流・中流域の約270mの対象区間に、欠損したヤマザクラに対する補植及びサクラの生育環境を改善するために、被圧している雑木を伐採し、市民団体と協働でヤマザクラの苗木を計28本補植しました。この整備区間は本年度の実施を持って完了となります。

整備に関する検証の一環として、一般市民を対象とした「名勝小金井（サクラ）復活事業アンケート」を実施しました。名勝小金井（サクラ）の復活事業は、平成26年度からは関野橋から梶野橋間の上流・中流域におけるヤマザクラ並木の整備を行ってきました。また、平成22年度から24年度におけるモデル事業区間の整備状況も合わせたうえで、玉川上水周辺の近隣住民に加え、一般市民を対象としました。結果は資料のとおりです。おおむね事業に対して肯定的な結果が示され、少しずつ事業への理解が進んでいるものと受け止めています。

亀山委員 この件について何かご質問ありますでしょうか。

椎名委員 アンケート結果では、市民からは、肯定的に理解されているようにみえますね。

桜並木がこのように（『玉川上水・小金井桜整備活用計画概要版』掲載の大正時代の玉川上水の桜並木の絵を示して）復活することが実現できるとしたら、素晴らしいことですよね。

亀山委員 被圧樹木の成長は、桜より早いものが多く、植えた桜の苗木が十分成長しないうちに、昨年伐採した樹木が桜より大きく枝を張り、日当たりを妨げることも考えられます。そのあたりの将来的な調整まで、水道局が責任を持って伐採を続けてくれるのでしょうか。今後、史跡である玉川上水を整備していくにあたり、維持管理の方針、管理責任の所在、費用の負担等、小金井市が負担する部分、水道局が負担していく部分等、きちんと整理できているのかが心配です。

それでは、(4)今後の整備方針・計画について、お願いいたします。

(4) 今後の整備方針・計画について

石原生涯学習課長 小金井市では、平成23年度から平成32年度までの10年間の計画である第四次基本構想を市の最上位計画として位置づけております。その計画期間の後期である平成28年度から32年度までの後期基本計画を平成28年3月に策定いたしました。その中において、施策36総合的な文化振興の推進、「歴史的文化遺産の保全と継承」の中の具体的な取り組みとして、名勝小金井（サクラ）の並木の復活及び緑道の整

備を計画的に推進するとうたってございます。

それに基づきまして、今年度は、東京都水道局の策定した「史跡玉川上水整備活用計画」の期間の最終年度である平成31年度中に緑道の整備を完成させるために、工事期間のスケジュール及び実施設計に要する期間の設定等の前段として、緑道の整備に必要な検討を開始していただくことを考えてございます。

先ほど説明させていただいたお話の続きになりますが、前回の会議の終了時若干触れていただいた内容に加えまして、より詳細に、緑道の整備を進めていく上での課題を有識者の方にご検討していただきたく、お集まりいただいた次第でございます。

小野委員 私は、これから具体的に、何について我々は検討していくべきなのかが今ひとつ不透明なまま、今回報告をお聞きしていたものですから、発言の場面を見出せませんでした。

亀山委員 私は、今回は、現在までの報告をお聞きするつもりで来ました。次回以降については、今回、意見として出されました点等の整理も含めて、何を審議すべきかを明確にして必要な資料の提供と、議題のご提案をお願いできればと思います。

石原生涯学習課長 了解いたしました。今回は、前回委員会終了時から大分時間が経過いたしましたので、現在までの進捗状況をご報告し、委員の皆様のご尽力のお陰で完成しました人道橋『平右衛門橋』もご覧いただく機会として、設定いたしました。

次回以降につきましては、審議いただく上で、必要な資料を事前にお送りしたいと思いますので、どうかよろしく願いいたします。

5 次回委員会の開催日について

亀山委員 それでは、次回の日程はどういたしましょうか。

山崎文化財係長 (候補日程、会議会場を説明)
(委員間で調整)

亀山委員 それでは、次回は11月30日(水)午前10時～
第3回は、2月27日(月)午前10時～
市役所第二庁舎8階801会議室です。
本日の会議は、ここまでで終了とさせていただきます。
ありがとうございました。

(この後、椎名委員、小野委員、高木主事(学芸員)で、完成した平右衛門橋を徒歩にて視察後、解散。)